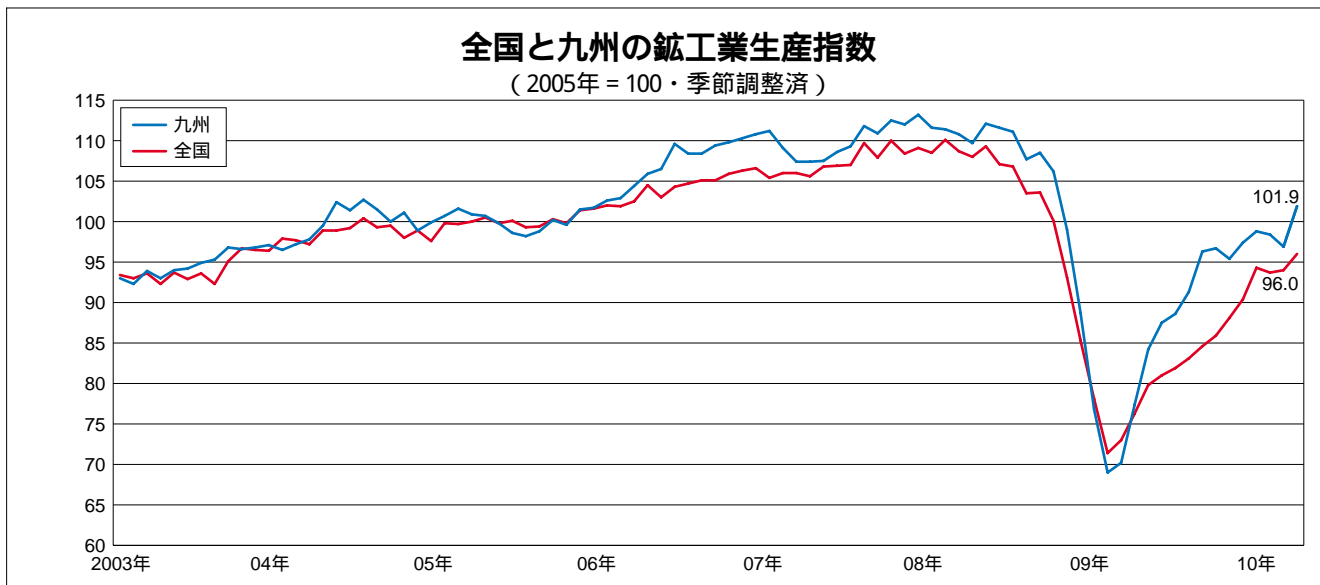


九州の鉱工業生産動向

[基調判断] 持ち直しの動きが続いている

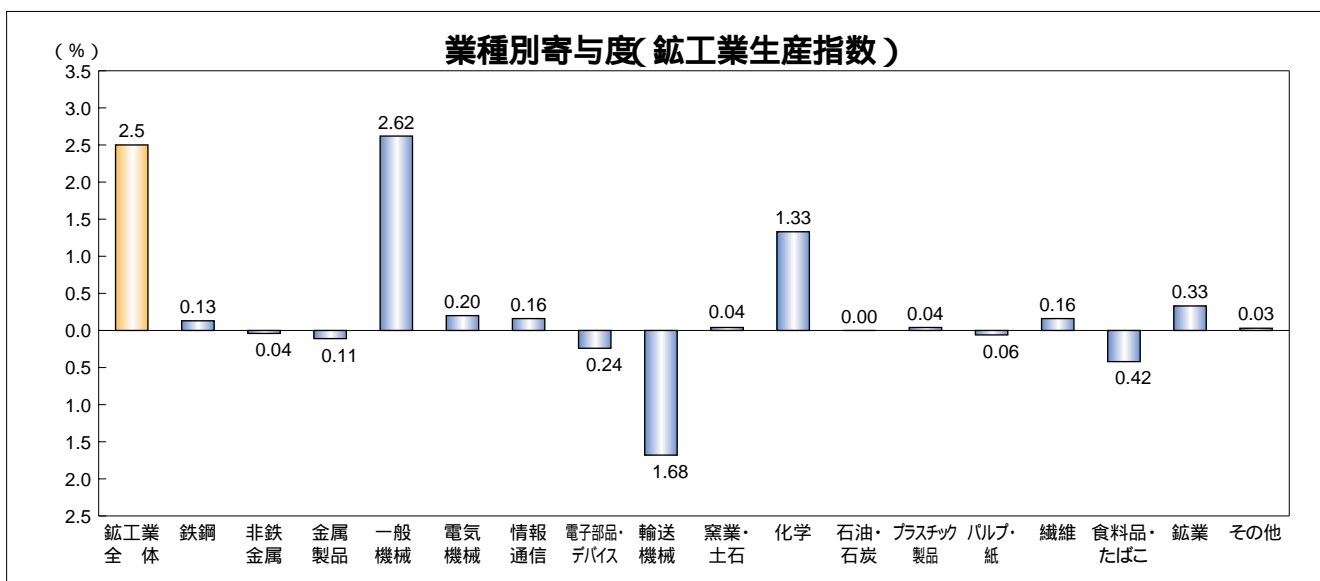
2010年4月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、海外の火力発電所向けタービンやアジア向け半導体製造装置等の生産が好調な一般機械と自動車向け素材が好調な化学などにより、前月比2.5%上昇の101.9と3ヵ月ぶりに前月比プラスに転じるなど持ち直しの動きが続いています。



(出所)九州経済産業局

[業種別動向] 一般機械、化学などの生産が上昇

業種別にみると、輸送機械については、乗用車の決算期末における販促の動きが終了したことから、マイナスに寄与した一方で、海外向け生産が好調な一般機械や化学など17業種中10業種でプラスに寄与しました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

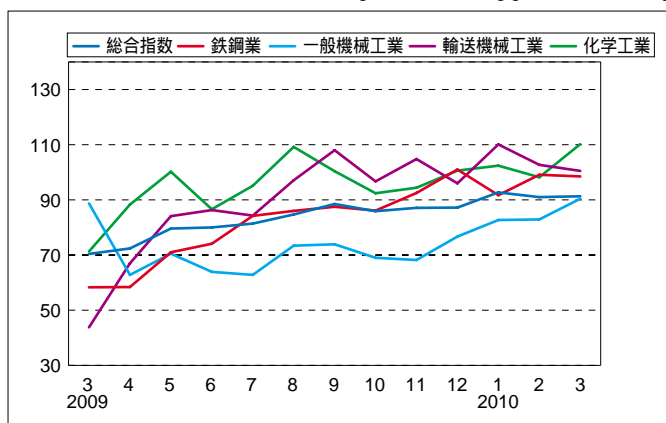
[福岡県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、アジア向け需要が好調に推移している一般機械や化学が上昇するなど持ち直しの動きが継続しています。

大型小売店販売額は、前年割れで推移しましたが、住宅建設は、貸家、持家、分譲とも増加し、2ヵ月連続で前年実績を上回りました。公共工事については、5ヵ月ぶりに前年を下回る結果となりましたが、全体的には堅調な動きとなっています。

[生産活動].....総合指数は持ち直しの動きが継続

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年 = 100)



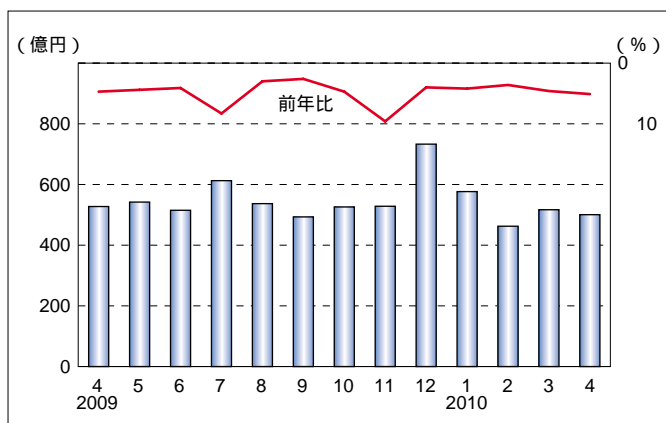
(出所)福岡県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は91.3となり、前月比0.3%上昇しました。

主要業種をみると、化学が前月比12.2%、一般機械についても同9.0%上昇しています。いずれもアジア向けの需要増によるものが大きく、持ち直しの動きが継続しています。

[大型小売店].....前年割れが継続

福岡県の大型小売店販売額



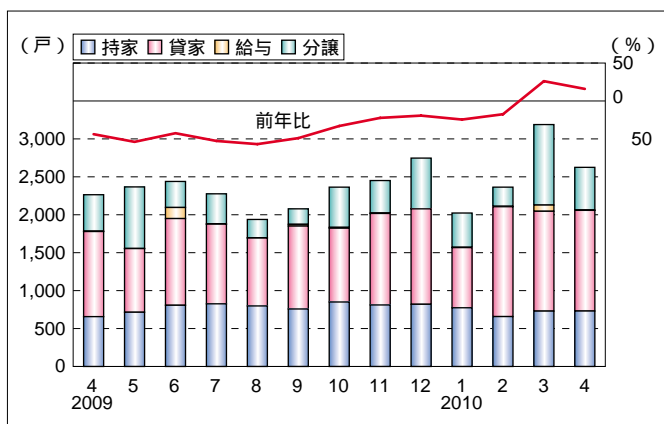
(出所)九州経済産業局

4月の大型小売店販売額は、百貨店、スーパーともに天候不順がマイナス要因となり、前年同月比5.1%減の501億円と21ヵ月連続で前年比マイナスとなりました。

内訳をみると、百貨店は、同6.9%減の204億円、スーパーについても同3.8%減の296億円となりました。

[住宅建設] 2 ヶ月連続で前年比プラス

福岡県の新設住宅着工戸数

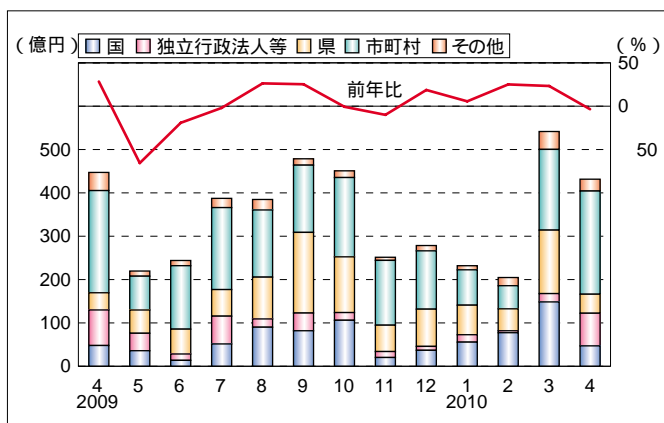


(出所)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、前年比15.9%増の2,625戸と2ヶ月連続で前年比プラスとなっています。内訳は、貸家で前年比18.3%増の1,327戸、持家は同11.3%増の731戸、分譲では同17.3%増の564戸となっています。貸家、持家、分譲ともに住宅版エコポイント等の支援策の効果に加え、前年に大きく落ち込んだ反動もあり好調に推移しています。

[公共工事] 請負金額は5ヶ月ぶりに前年割れ

福岡県の公共工事請負高



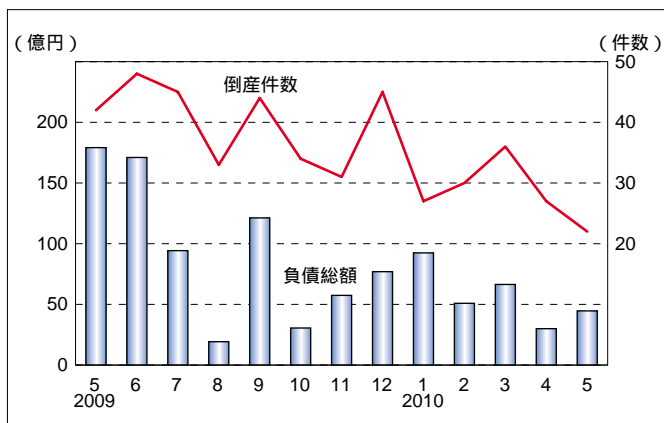
(出所)西日本建設業保証

4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比1.0%減の613件、金額についても同3.5%減の432億円と件数、金額ともに前年を下回りました。

発注者別で見ると、「県」や「市町村」の発注額は増加した一方、九州大学の移転関連工事が一巡したことから「その他の公共的団体」で大きく減少し、全体では5ヶ月ぶりに前年割れとなりました。

[企業倒産] 倒産件数、負債総額ともに前年比減少

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

5月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比47.6%減の22件、負債総額は、大型倒産が発生した前年同月に比べ、同75.1%減の45億円と減少しました。「中小企業金融安定化法」等の企業支援策の効果により、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

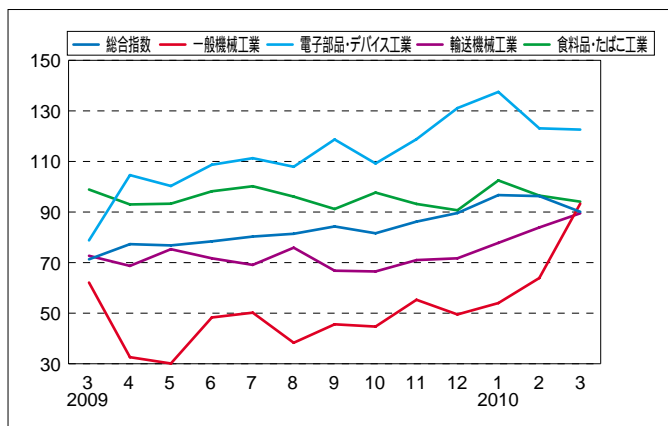
熊本県の最近の経済動向

[熊本県の景気] 持ち直しの動きが続いている

生産活動は、総合指数は2ヵ月連続で低下したものの、電子部品・デバイスは横ばいながら高水準の生産を維持するなど、持ち直しの動きが続いています。公共工事は、請負金額が10ヵ月ぶりに前年を下回り、住宅建設は前年割れながら、持家が6ヵ月連続で前年を上回っています。大型小売店販売額については、主力の衣料品が伸びず、前年実績を下回りました。企業倒産は大型倒産が相次いだ前年に比べると、件数、請負金額ともに前年を下回りました。

[生産活動] 総合指数は2ヵ月連続で低下

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



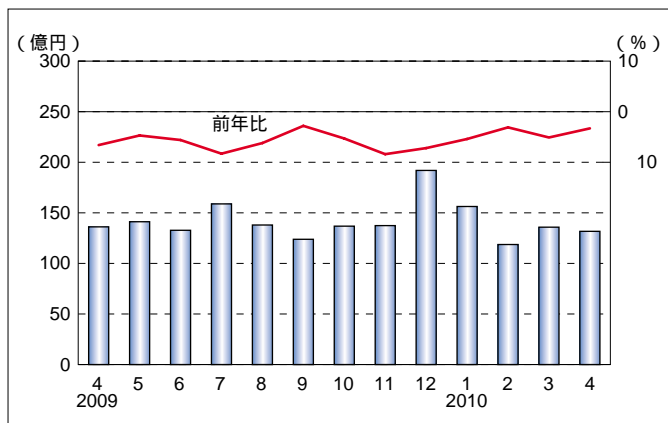
(出所)熊本県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比6.4%減の90.1と2ヵ月連続で低下しました。

半導体製造装置等の生産が高い伸びとなった一般機械や輸送機械は上昇し、電子部品・デバイスはほぼ横ばいながら高水準を維持しています。一方、食料品・たばこは低下しました。

[大型小売店] 主力の衣料品が伸びず前年割れ

熊本県の大型小売店販売額



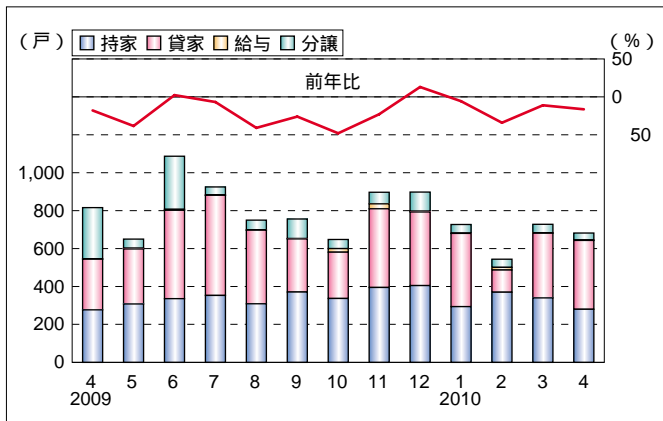
(出所)九州経済産業局

4月の県内大型小売店販売額は、前年比3.3%減の132億円と前年実績を下回りました。

商品別では、主力の衣料品は、天候の影響から季節商品の販売が振るわず、前年比3.3%の減少となりました。軒並み前年割れとなるなか、飲食物品は同1.9%、電気機械器具は同8.8%と前年を上回りました。

[住宅建設] 4 ヶ月連続で前年を下回る中、 持家は6 ヶ月連続で増加

熊本県の新設住宅着工戸数



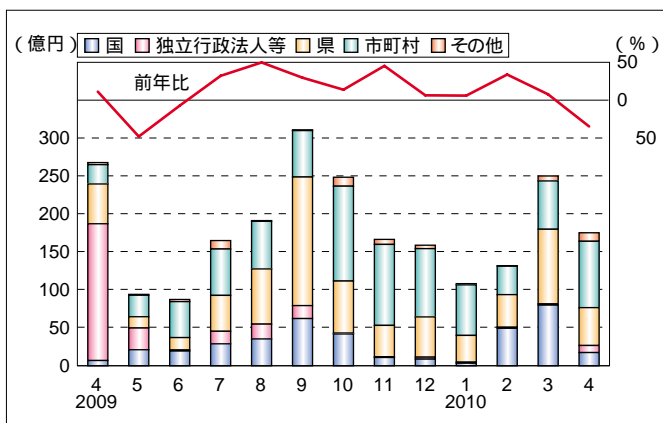
(出所)国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、前年比16.4%減の682戸と4ヶ月連続で前年を下回りました。

用途別にみると、持家は同1.1%増の280戸と6ヶ月連続で前年を上回り、貸家は前年落ち込んだ反動から363戸、同36.0%増と大幅な伸びとなりました。一方、分譲は、マンションの着工実績がなかったことから、同86.3%減の37戸と低調に推移しています。

[公共工事] 請負金額は10ヵ月ぶりに前年割れ

熊本県の公共工事請負高



(出所)西日本建設業保証

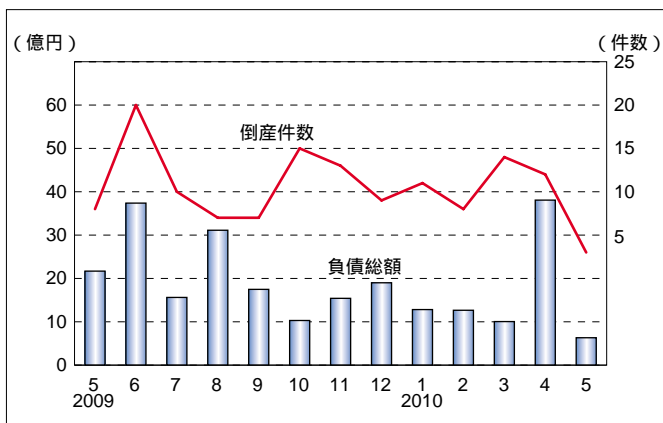
4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比3.6%増の317件、金額が同34.5%減の175億円と請負金額は10ヵ月ぶりに前年を下回りました。

発注者別にみると、「国」は大幅に増加しましたが、九州新幹線関連工事の一服から「独立行政法人等」は前年比で大幅に減少しました。

公共工事削減の動きの中で、件数、請負金額ともに減少傾向を辿っています。

[企業倒産] 倒産件数、負債総額ともに前年比大幅減

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

5月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年比62.5%減の3件、負債総額が同70.9%減の6億3,200万円となりました。

昨年は大型倒産が相次いだことに加え、金融円滑化法案施行下での企業支援の動きから、倒産件数、負債総額ともに、前年を大幅に下回りました。

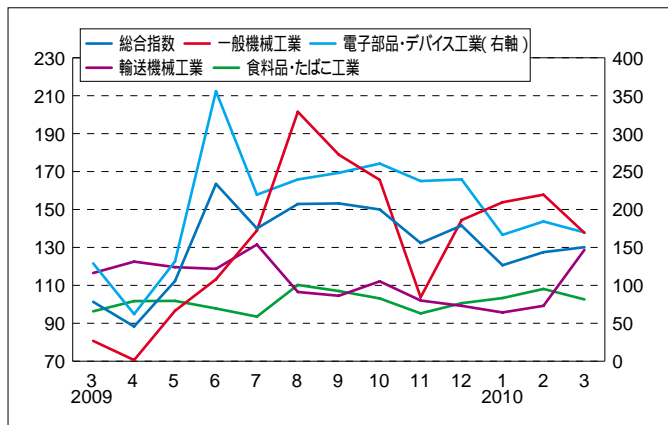
長崎県の最近の経済動向

[長崎県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、輸送機械を中心に、持ち直しの動きが続いています。住宅建設は持家、貸家など軒並み前年実績を下回り、公共工事は前倒し発注の反動等から、前年実績を下回っています。大型小売店販売額は、減少傾向が続く中、前月に引き続き減少幅が縮小し、企業倒産は前年に比べ、件数、負債金額ともに低水準で推移しています。

[生産活動].....輸送機械が大幅に上昇

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年 = 100)



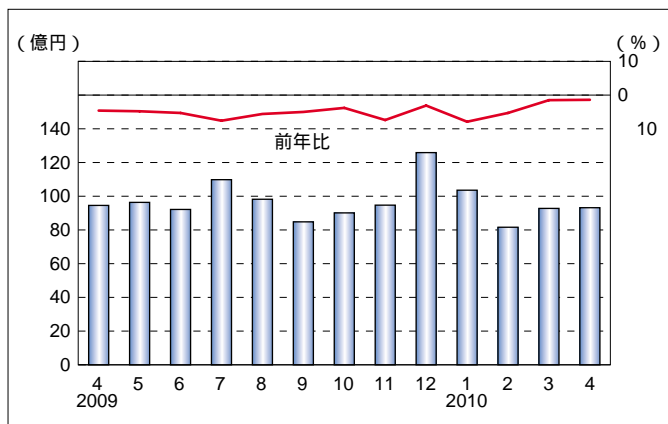
(出所)長崎県

3月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は前月比2.0%上昇し130.1となりました。

業種別でみると、新造船建造の影響から輸送機械が同29.7%と大幅に上昇し、総合指数は2ヵ月連続で上昇しました。

[大型小売店].....減少幅は前月に引き続き縮小

長崎県の大型小売店販売額



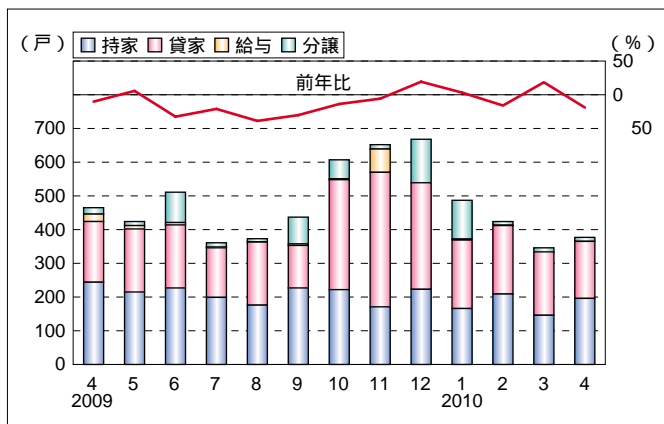
(出所)九州経済産業局

4月の県内大型小売店販売額は、前年比1.4%減の93億円と前年を下回りました。販売額は減少傾向を辿っていますが、減少幅は前月に引き続き縮小しました。

天候不順の影響から季節商品の売れ行きが伸びず、衣料品は前年比7.7%減と低調でした。一方、新エコポイント制度が導入された以降も、電気機械器具は同75.8%増と好調な動きが続いています。

[住宅建設] 持家、分譲など軒並み前年を下回る

長崎県の新設住宅着工戸数



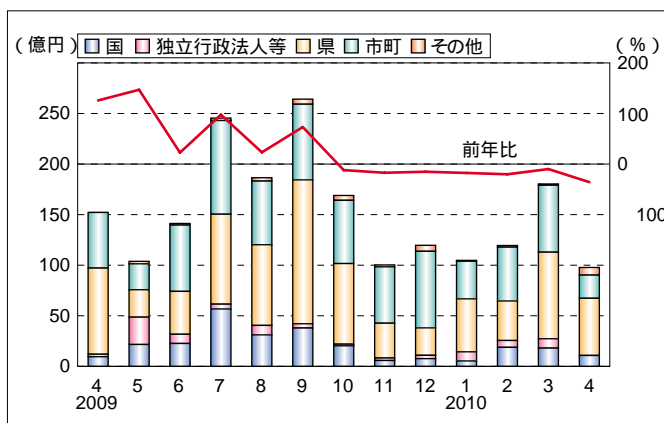
(出所) 国土交通省

4月の新設住宅着工戸数は、前年比18.9%減の377戸と2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

用途別にみると、持家は同19.7%減の196戸、貸家は同6.1%減の169戸、分譲も同36.8%減の12戸と軒並み減少しました。また、分譲のうちマンションについては、前月に引き続き着工実績がありませんでした。

[公共工事] 請負金額は7ヵ月連続で前年を下回る

長崎県の公共工事請負高



(出所) 西日本建設業保証

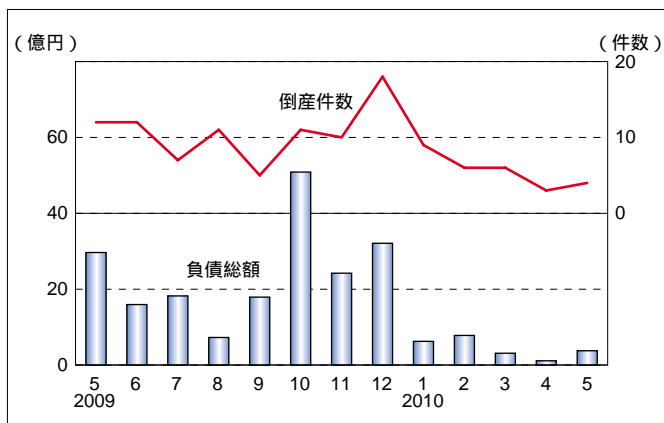
4月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年比23.1%減の180件、金額が同35.8%減の97億円となり、請負金額は7ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別の請負金額をみると、「国」は同12.8%と2ケタ増となったものの、前年の反動から「県」が同33.6%減、「市町」が58.3%減と、いずれも大幅に減少しました。

公共工事削減の動きから、基調は件数、請負金額ともに減少傾向にあります。

[企業倒産] 件数、負債金額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所) 東京商工リサーチ

5月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年比66.7%減の4件、負債総額が同87.4%減の3億7,500万円となりました。

昨年は大型倒産が発生したことに加え、金融円滑化法案に基づく企業支援の動きが浸透したことから、件数、負債金額ともに低水準で推移しています。